

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E133C002		幼児と人間関係(Infants and Human Relationships)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択必修	1	3	教育学部 令和3年度 以降入学生用			氏名 向井隆久・齊藤友子 E-mail tsaito@oita-u.ac.jp 内線 7603											
授業の概要	本授業では、「他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う」保育内容である領域「人間関係」の指導の基盤となる知識、技能を身につける。具体的には、幼児を取り巻く人間関係の特徴と人と関わる力の育ちの意義について理解するとともに、幼児の自立心や協同性、道徳性・規範意識の芽生えなどを身近な大人や教師との関係、幼児同士の関係、集団の中での育ちなどの場面から考察することができる。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景を分析する。																
目標2	幼児の人と関わる力の育ちについて説明する。																
目標3	幼児の自立心や協同性、道徳性・規範意識の芽生えの姿を説明することができる。																
目標4	幼児の人と関わる力の育ちを、身近な大人や教師、幼児同士等の関わり場面から説明することができる。																
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	保育内容・領域「人間関係」の基本的理解(担当:向井隆久・齊藤友子)																
2	幼児期における人間関係の発達と社会の関わり:地域に開かれた環境づくり(担当:向井隆久)																
3	幼児期の遊びや生活における個と集団の育ち:異年齢における仲間づくり(担当:向井隆久)																
4	幼児期の人間関係の広がり圏と家庭・地域とのつながり:困りを抱えた子どもを中心に(担当:向井隆久)																
5	幼児期の自立心の育ちと保育の実際:事例検討-乳児と1歳児,2歳児,3歳児を中心に(担当:齊藤友子)																
6	幼児期の協同性の育ちと保育の実際:事例検討-4歳児,5歳児を中心に(担当:齊藤友子)																
7	幼児期の道徳性・規範意識の芽生えと保育の実際:事例検討-6歳児を中心に(担当:齊藤友子)																
8	保育内容・領域「人間関係」の指導に向けて(担当:齊藤友子・向井隆久)																
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
ラ ア ク ニ テ ン イ グ レ ブ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造		各授業でレポートや学生同士のディスカッション及びワークシート等を用いたグループワークを行う。				工 夫 そ の 他 の	動画の活用、Moodleの活用。									
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	単元に関する資料や参考文献等の情報を必要に応じて予習する(4時間)。															
	事後学修	授業で学習したことをまとめ、課題を完成する(4時間)。															
教科書	教科書は使用しない。教員作成の資料を適宜配布する。																
参考書	・文部科学省・厚生労働省・内閣府『平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本』チャイルド本社,2017年 ・文部科学省『幼稚園教育要領解説<平成30年3月>』フレーベル館(2018年)																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	学期末課題レポート	40%															
	講義レポート	40%															
	授業・討論等への取り組み等	20%															
	以上の評価方法から総合的に評価する。																
注意事項																	
備考																	
リンク	URL																